2026年11月1日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
8,351万kW
18時、83,512 MW（10エリア同時刻合計）

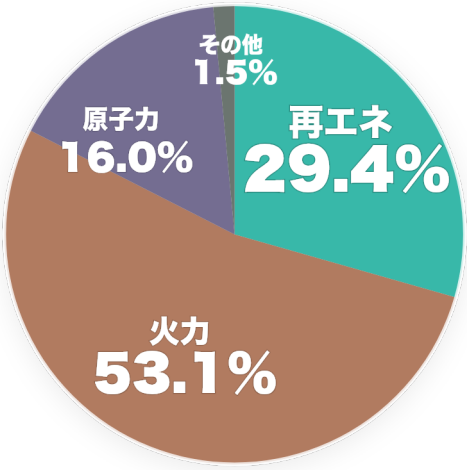
☀ 太陽光ピーク
3,812万kW
11時、38,119 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
323万kW
0時30分、3,231 MW

◇ 再エネ最大需要比
63.9%
11時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
124 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
108 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 51.4%

39.3 GWh

出力抑制量

39.4 GWh

最大: 九州 13.2 GWh

揚水・蓄電の充電

78.9 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、18:00に2,724万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで51.4%でした。
- 出力抑制は東北、中部、北陸、関西、中国、四国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**29.4%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**537 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**1,825 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**63.9%**	11時
出力抑制量	**39.4 GWh**	最大: 九州
揚水・蓄電の充電	**78.9 GWh**	発電構成比には含めない

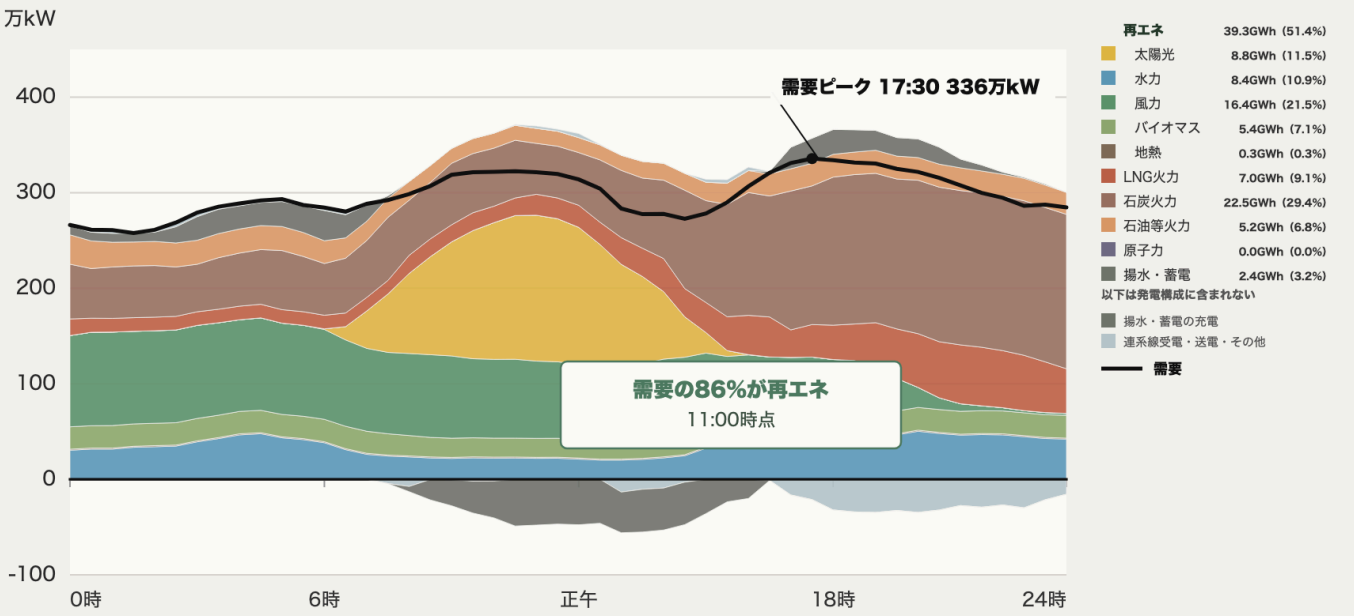
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**51.4%**	**39.3**	**0.0**	**送電 1.9**
東北	**36.7%**	**106**	**8.2**	**送電 108**
東京	**24.7%**	**117**	**0.0**	**受電 124**
中部	**37.1%**	**80.4**	**0.0**	**受電 42.5**
北陸	**37.0%**	**24.1**	**0.6**	**送電 10.6**
関西	**18.4%**	**41.9**	**9.3**	**受電 63.5**
中国	**24.0%**	**33.9**	**7.7**	**送電 13.5**
四国	**28.7%**	**27.2**	**0.3**	**送電 44.4**
九州	**29.2%**	**64.7**	**13.2**	**送電 32.1**
沖縄	**14.2%**	**3.0**	**0.0**	—

2026年11月1日の供給実績

北海道エリア

再エネ
39.3GWh
（発電電力量ベース51.4%）

北海道エリア 2026年11月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
76.5GWh

需要ピーク
17:30、336万kW

連系線・その他
2.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
3.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

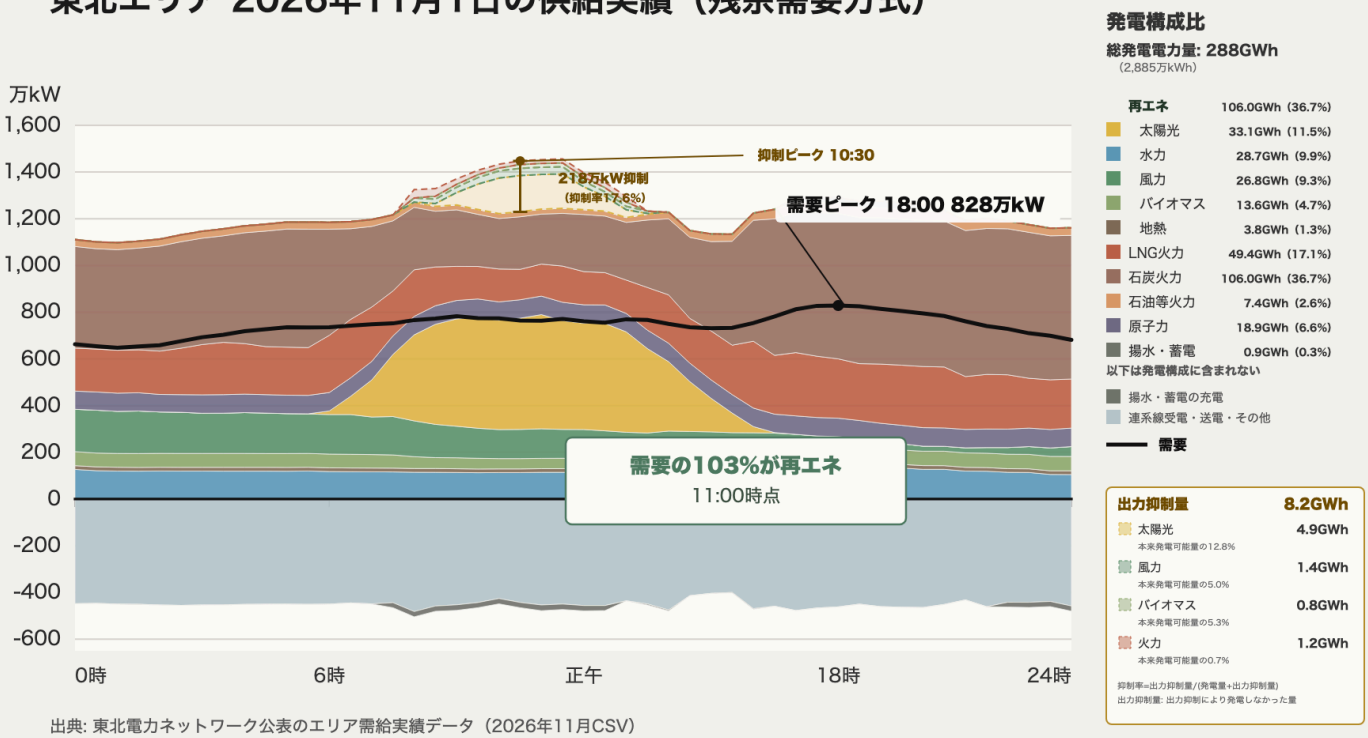
北海道は、太陽光ピーク153万kW、風力ピーク98万kWで、時間別の再エネ最大需要比は86.0%だった。

2026年11月1日の供給実績

東北エリア

再エネ
106.0GWh
（発電電力量ベース36.7%）

東北エリア 2026年11月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
288.5GWh

需要ピーク
18:00、828万kW

連系線・その他
108.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.8GWh

出力抑制
8.2GWh

概況

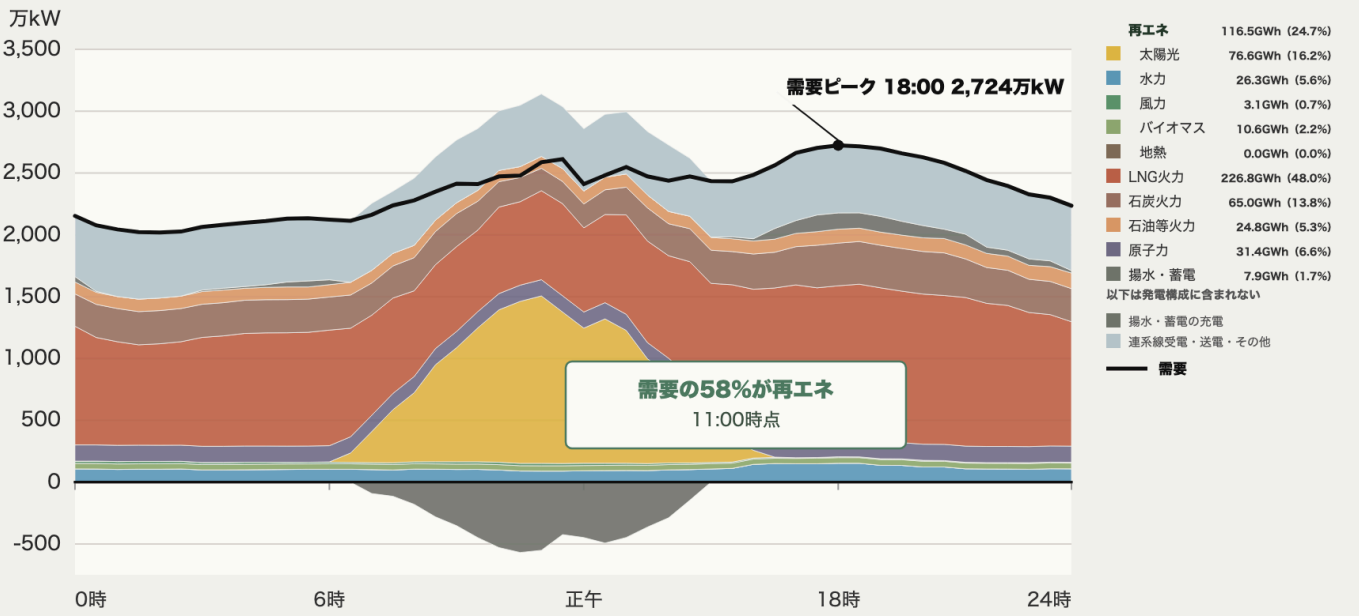
東北は、太陽光ピーク489万kW、風力ピーク184万kWで、時間別の再エネ最大需要比は103.5%だった。

2026年11月1日の供給実績

東京エリア

再エネ
116.5GWh
（発電電力量ベース24.7%）

東京エリア 2026年11月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
472.4GWh

需要ピーク
18:00、2,724万kW

連系線・その他
123.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
28.7GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

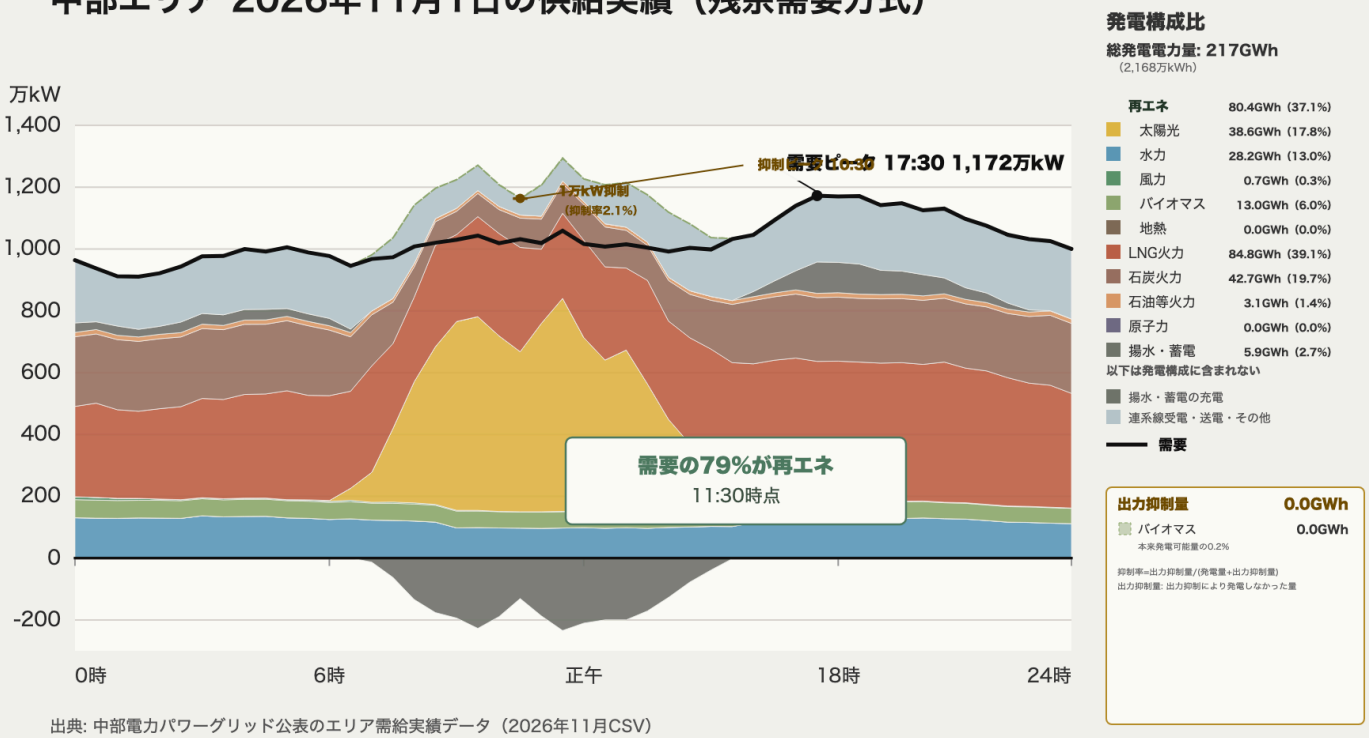
東京は、太陽光ピーク1,354万kW、風力ピーク20万kWで、時間別の再エネ最大需要比は59.0%だった。

2026年11月1日の供給実績

中部エリア

再エネ
80.4GWh
（発電電力量ベース37.1%）

中部エリア 2026年11月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
216.8GWh

需要ピーク
17:30、1,172万kW

連系線・その他
42.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電
12.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

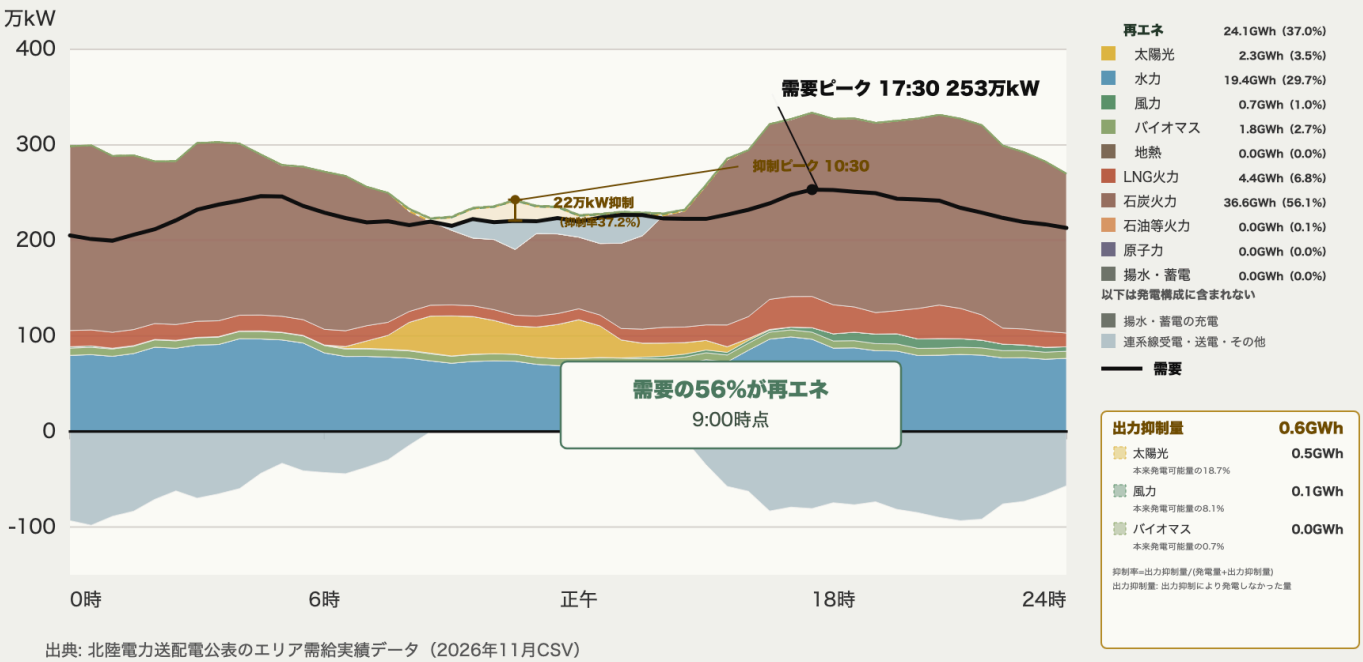
中部は、太陽光ピーク689万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は79.4%だった。

2026年11月1日の供給実績

北陸エリア

再エネ
24.1GWh
（発電電力量ベース37.0%）

北陸エリア 2026年11月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
65.2GWh

需要ピーク
17:30、253万kW

連系線・その他
11.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.6GWh

概況

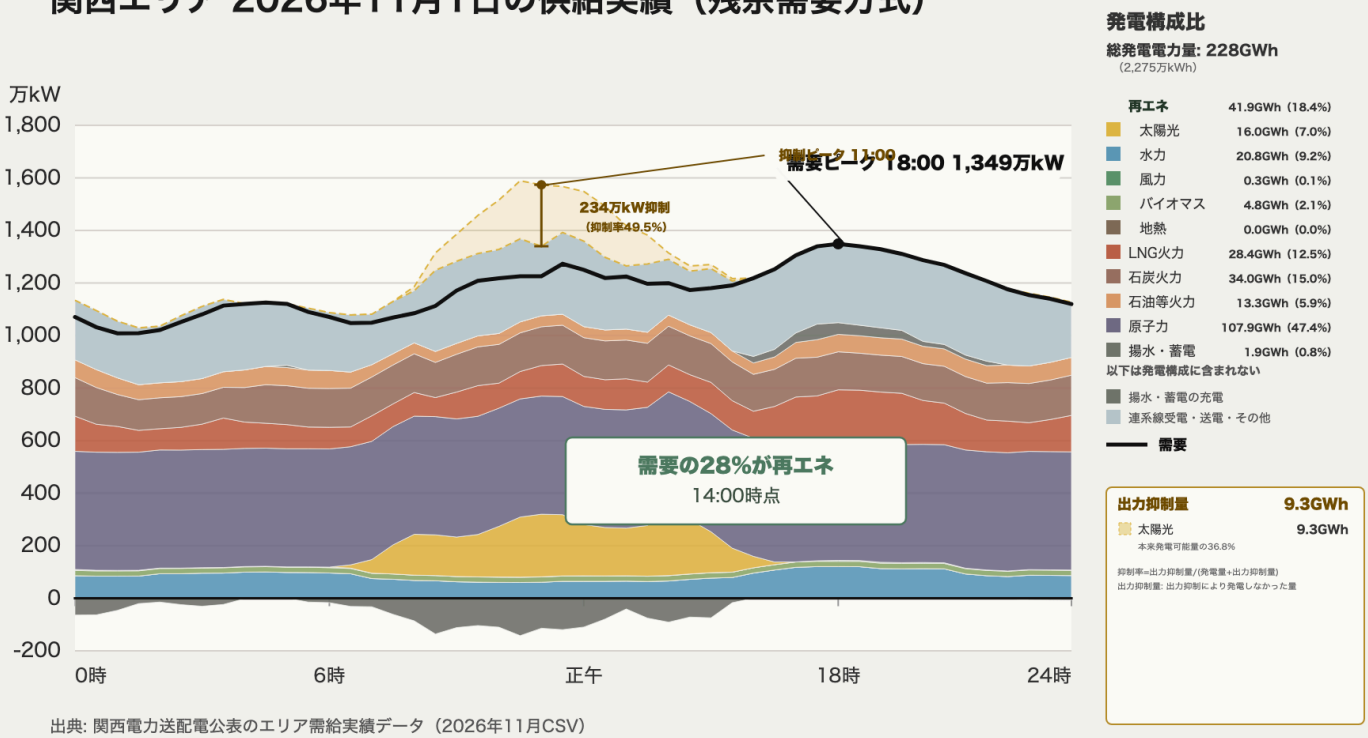
北陸は、太陽光ピーク42万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は56.2%だった。

2026年11月1日の供給実績

関西エリア

再エネ
42.0GWh
（発電電力量ベース18.4%）

関西エリア 2026年11月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
227.5GWh

需要ピーク
18:00、1,349万kW

連系線・その他
63.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電
9.7GWh

出力抑制
9.3GWh

概況

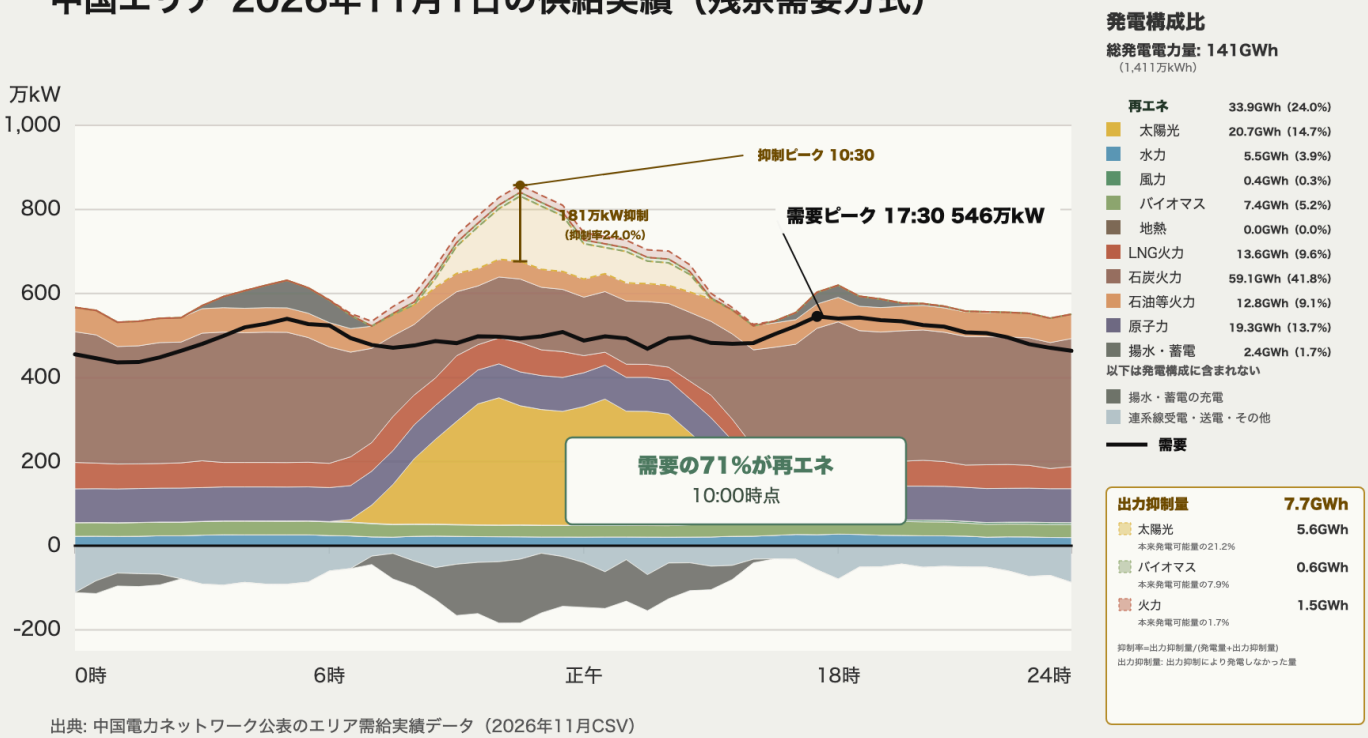
関西は、太陽光ピーク249万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は28.0%だった。

2026年11月1日の供給実績

中国エリア

再エネ
33.9GWh
（発電電力量ベース24.0%）

中国エリア 2026年11月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
141.1GWh

需要ピーク
17:30、546万kW

連系線・その他
13.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電
8.8GWh

出力抑制
7.7GWh

概況

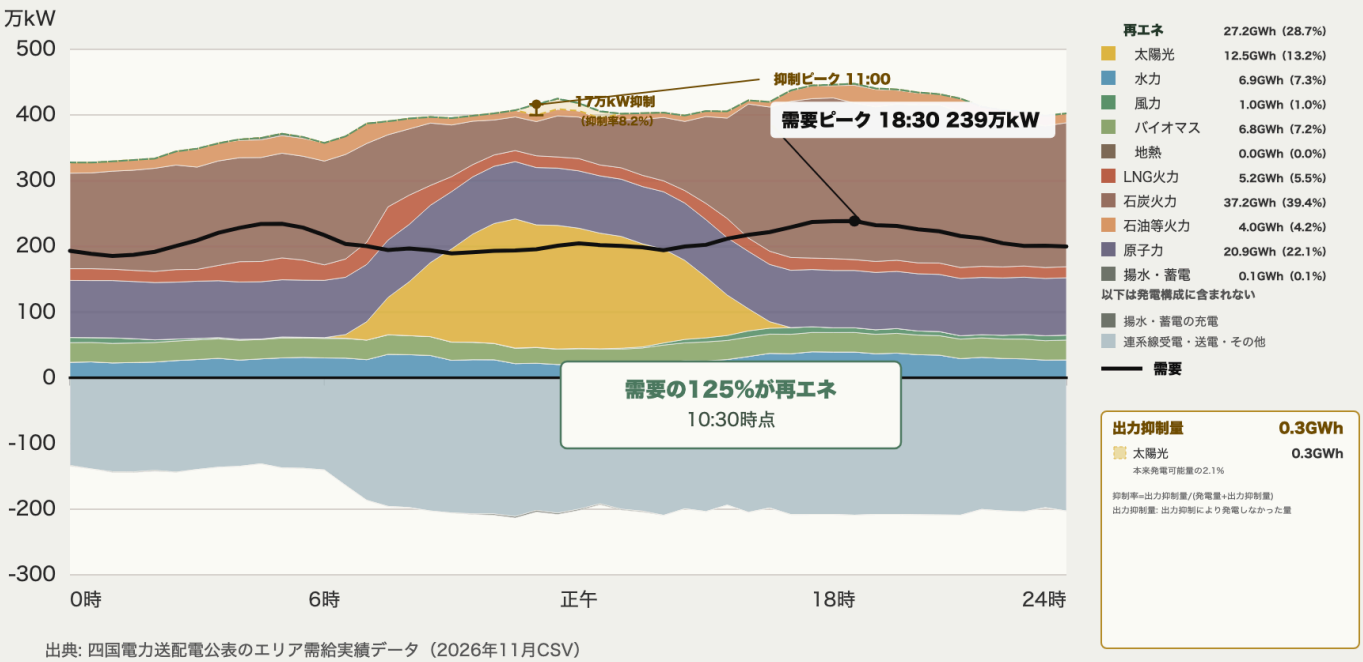
中国は、太陽光ピーク303万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は70.8%だった。

2026年11月1日の供給実績

四国エリア

再エネ
27.2GWh
（発電電力量ベース28.7%）

四国エリア 2026年11月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
94.5GWh

需要ピーク
18:30、239万kW

連系線・その他
44.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
0.3GWh

概況

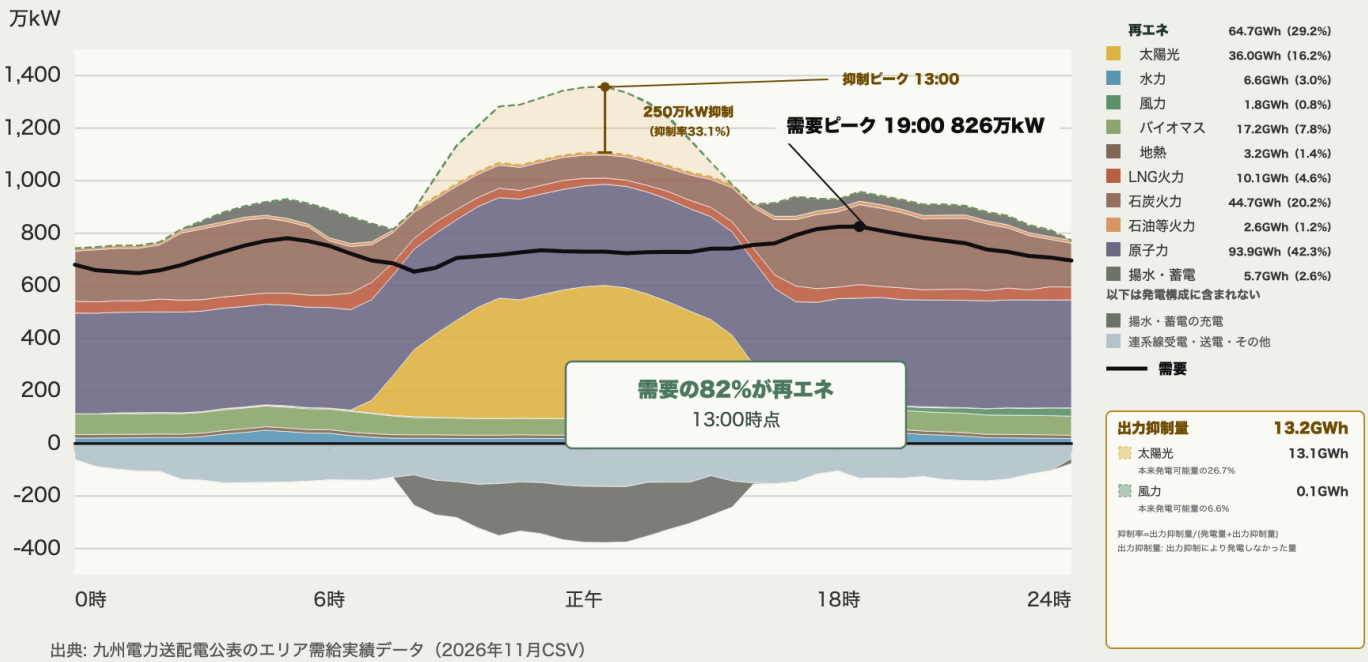
四国は、太陽光ピーク196万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は124.8%だった。

2026年11月1日の供給実績

九州エリア

再エネ
64.7GWh
（発電電力量ベース29.2%）

九州エリア 2026年11月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
221.8GWh

需要ピーク
19:00、826万kW

連系線・その他
32.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
13.9GWh

出力抑制
13.2GWh

概況

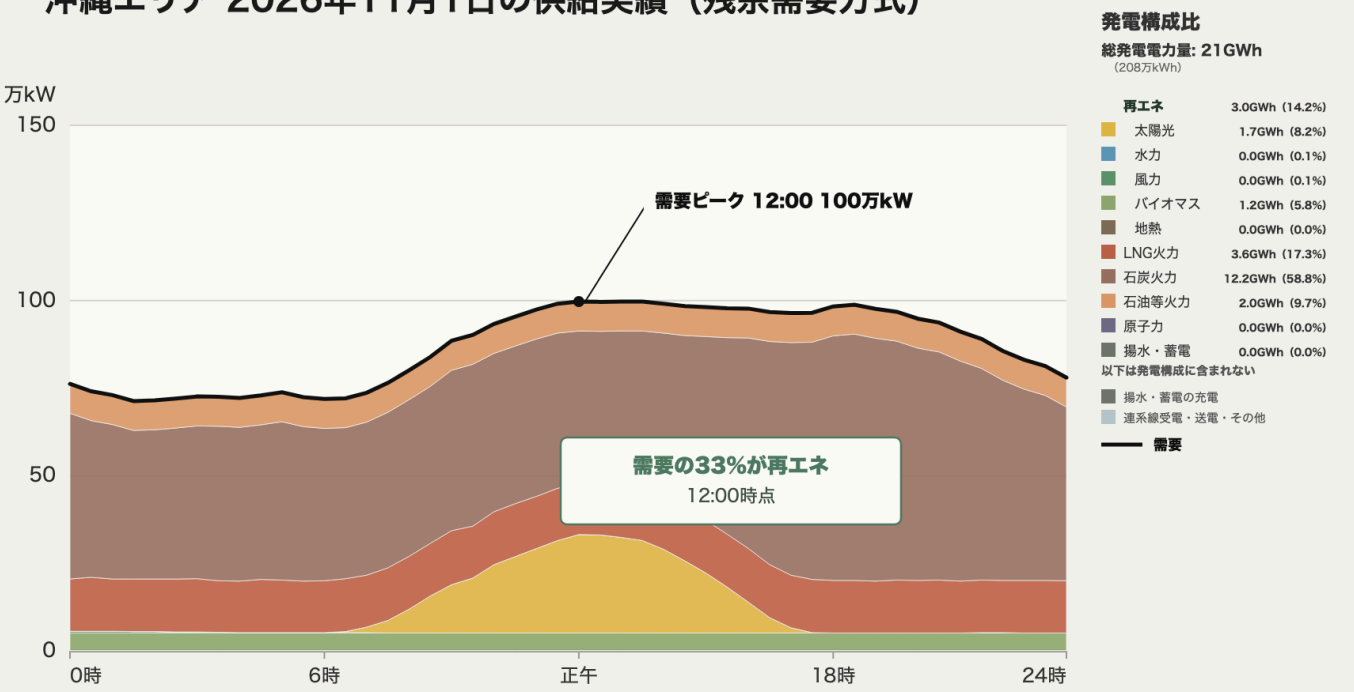
九州は、太陽光ピーク505万kW、風力ピーク31万kWで、時間別の再エネ最大需要比は82.4%だった。

2026年11月1日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
3.0GWh
（発電電力量ベース14.2%）

沖縄エリア 2026年11月1日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
20.8GWh

需要ピーク
12:00、100万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク28万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は33.3%だった。